



望洋台小だより



学校 HP

R5.9.26 No.8

(通算 559 号)

<学校の教育目標>

- 自ら考え工夫する子 ○思いやりのある優しい子
- 進んで行動しやりぬく子 ○明るく健康な子 ○協力し働く子

1日の時間の使い方

校長 及川年彦

保護者・児童アンケートでは、「家庭学習」が本校の課題の一つであることがわかります。保護者アンケート「お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いている。」の肯定的評価は67.6%、昨年度は64.2%と若干良くなっていますが、3人に1人は身に付いていないという結果です。また、児童アンケートの家庭学習時間「学年×10分+10分」の達成率は21.7%、昨年度は25.1%とさらに落ち込み、5人に1人しか達成していません。

「家庭学習は何をしいのか、わからない？」

はたしてそうでしょうか？

(家庭学習の手引きが4月に配られていますし、学校ホームページにも掲載してあります。)

ここにもう一つデータがあります。それは小樽市で小学校6年生を対象に「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。」についてきいたものです。

	3時間以上	4時間以上
小樽市	23.1%	13.8%
本校	26.4%	13.2%

結果は、右の通りです。本校は3時間以上の子もが4人に1人、4時間以上の子は10人に1人となります。

ここで、下の表の時間に着目してみてください。

学校	食事・風呂	遊び他	ネット	睡眠	合計
8時間	2時間	2時間	4時間	8時間	24時間

「学校」+「食事・風呂」+「遊び他」+「ネット」+「睡眠」= 24時間

これでは、勉強する時間はありませんね。

以前に学校だよりに載せましたが、「スマートフォン、コンピューター、テレビ、ビデオゲームコンソールなどの画面を備えたデバイスの使用に費やされた時間」を『スクリーンタイム』といいます。

このスクリーンタイムを減らすことが、家庭での学習時間を増やすことにつながります。9月は1年のちょうど折り返し地点です。お子さんと一緒に1日の時間の使い方をもう一度見直してみてください。

開校 40 周年記念事業

8月30日（水）に、開校40周年記念航空写真撮影を行いました。暑い中でしたが、滞りなく3回の撮影を終えることができました。初めは、保護者や地域の方々も交えてグラウンドで「40」の人文字を作り、ドローンで撮影しました。子どもたちだけではなく、保護者の方ももちろん、望洋台町会や東小樽町会の方にも参加していただき、思い出の1枚を撮ることができました。その後は、子どもたちと教職員が四角くなって撮影し、最後に学級ごとに一人一人将来の夢をもって集合写真を撮影しました。どれもしっかり撮影でき、出来上がりが大変楽しみです。

また、9月2日（土）には、校地内のベンチのペンキ塗りが行われました。夏休み中に本校の用務員さんが補修してくれたベンチを、協賛会事業部の方々とそのお子さん、望洋台町会からのお手伝いの方を併せ、約20名の方々にペンキで塗装していただきました。とてもきれいに仕上がりました。ありがとうございました。

開校40周年記念事業は、着々と進んでいます。12月9日（土）の記念式典、記念講演会に向けて、今後もみんなで協力して事業に取り組んでいきます。更なるご支援をお願いいたします。



災害は、待たなし！

9月11日（月）に、2回目の避難訓練を行いました。今回は、予告なしで休み時間に地震と火災が発生するというもので、子どもたちも職員も、その場に合った対応が必要となりました。成果としては、予想以上にスムーズに避難できたことでしたが、課題としては、いきなりなこと、少し慌てて私語が目立ってしまったことです。「災害」は、待たなし、いつ起こるか分かりません。今回のことを生かし、いつでも自分の命を守る行動をとることができるよう取り組んでいきます。



4年生見学旅行～札幌方面～

9月22日（金）に、4年生の見学旅行がありました。行先は、「北海道開拓の村」と「札幌市民防災センター」でした。昔の家屋の見学や染め物体験をしたり、地震や火災の疑似体験をしたりと学びが多かった旅行となりました。見学場所でのマナーや話の聞き方も立派だった子どもたち、今回学んださまざまなことを、日常の学習や生活に生かせるように指導していきます。

